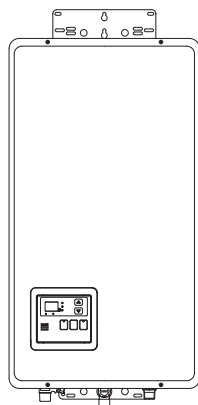


ガス給湯器 533-R918型

特定保守製品

この機器は消費生活用製品安全法で指定された「特定保守製品」です。所有者登録と法定点検が必要です。詳しくは9～12ページをご覧ください。



ご愛用の皆さまへ

このたびは大阪ガスのガス給湯器をお買い上げいただきましてありがとうございます。

- ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき正しくお使いください。
- この取扱説明書の裏表紙と46ページが保証書になっています。内容をよくご確認ください。大切に保管してください。
- この製品は国内専用です。

もくじ

安全にご利用のために

ページ

安全上のご注意（必ずお守りください）.....	1
安全上のご注意（使用編）.....	2
安全上のご注意（設置編）.....	7
長期使用製品安全点検制度に関するお願い.....	9

はじめに

お使いになる前に.....	13
各部のなまえとはたらき.....	13
本体操作部.....	13
機器本体.....	14
浴室リモコン.....	15
増設リモコン.....	17
初めて使うとき.....	19

給湯を使う

給湯温度を調節する.....	20
優先スイッチの使いかた（浴室リモコン接続時のみ）... 22	

お風呂を入れる

お湯はりのオート止水機能の使いかた.....	23
お湯が出なくなったら.....	26
お湯はり湯量を調節する.....	27
お湯はり温度を調節する.....	29

便利な使いかた

音声の大きさ（音量）を変更する.....	30
リモコン表示を節電する（セーブモード）.....	31
浴室から人を呼びたいとき.....	32
ゆらぎのシャワーの使いかた（浴室リモコン接続時のみ）... 33	
増設リモコンの操作音を消す.....	35

知っておいてください

冬期の凍結による破損防止について.....	36
日常の点検：お手入れのしかた.....	38
長期間使用しない場合は.....	39
故障かな？と思ったら.....	40
主な仕様・能力表.....	44
アフターサービスについて.....	45
保証書.....	裏表紙

安全上のご注意 (必ずお守りください)

■製品を正しくお使いいただくためや、お客さまや他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。

危険 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物の損害のみの発生が想定される内容を示しています。

上記に述べる軽傷、物的損害とはそれぞれ次のようなものをいいます。

軽 傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などをさします。
物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

■絵表示には次のような意味があります。

危険 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



火災注意

禁止 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



火気禁止



触れないこと



分解禁止



ぬれ手禁止

強制 この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。



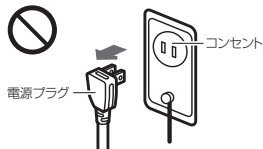
電源プラグをコンセントから抜く

危険 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

ガス漏れに気づいたら

- 絶対に火をつけない
- 電気器具のスイッチの入 / 切をしない
- 電源プラグの抜き差しをしない
- 周辺の電話を使用しない

ガス漏れに気づいたときは、大阪ガスの係員による処置が終るまで上記のことを行わないこと。
炎や火花で引火して爆発事故のおそれがあります。



電源プラグ



コンセント

■すぐに使用を中止する

①ガス栓とメーターのガス栓を閉める。



②窓や戸を開けガスを外へ出す。



③外に出て、もよりの大阪ガスに連絡する。



(使用編)

危険 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

屋外設置禁止
この機器は屋内用です。
※屋外に設置して使用しないでください。
機器に雨水が浸入したり、風で炎があふれて火災の原因となります。

給排気筒トップのはずれに注意
臭い・煙など、給排気筒トップのはずれに気付いたときは、すぐに使用をやめ、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに修理を依頼してください。
このまま使用すると、燃焼排ガスが室内に漏れたり不完全燃焼の原因となります。

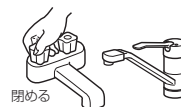
警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

機器や給排気筒トップの周囲には

- 機器や給排気筒トップを洗たく物などでおおわない
- 紙や木材などの燃えやすい物を置かない
火災の原因になります。
- スプレー缶・ガソリン・ベンジンなどの引火性危険物を置いたり、使用したりしない
引火して火災のおそれがあります。
- スプレー缶・カセットこんろ用ボンベなどを置いたり、使用したりしない
熱でスプレー缶内の圧力が上がりスプレー缶が爆発するおそれがあります。

異常時は使用を中止しガス栓を閉める
1.使用中に異常な臭気・異常音・異常な温度を感じた場合、機器が使用中で消火してしまった場合はただちに使用を中止してガス栓を閉めてください。

- ①お湯の蛇口をすべて閉める。 ②運転スイッチを「切」にする。 ③ガス栓を閉める。



閉める



STOP



ガス栓 閉める

- 2.異常を感じたときは、「故障かな?と思ったら」(40～43ページ)に従ってください。
3.上記の処置をしても直らない場合は使用を中止して、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

■地震・火災などの緊急の場合は、ただちに使用を中止してガス栓・給水元栓を閉める

次ページもお読みください



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

ご使用について



■機器本体に無理な力を加えない

機器本体やガスの接続口などに乗らないでください。けがや機器の変形によるガス漏れ・不完全燃焼のおそれがあります。



■浴槽のふたの上に乗ったり手をついたりしない

ふたがはずれておぼれたり、やけどなどの思わぬ事故のおそれがあります。

電源ケーブル・プラグについて



■ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

感電のおそれがあります。



■電源ケーブルを切断して延長はしない

電源ケーブルがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災などの原因になります。



■電源ケーブルを引っばって電源プラグを抜かない

電源ケーブルを引っばると破損して感電や火災の原因になります。



■電源プラグは根元まで完全に差し込む

差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使わないでください。



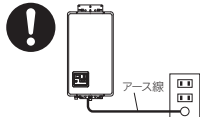
■電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く

電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



■アースされていることを確認する

この機器はアースが必要です。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

やけど防止のため



■出始めのお湯は手や体にかけない

お湯を止めた後に再使用するときや、お湯の量を急に少なくしたとき、トイレの水を流すなど大量の水を使用して給水圧が下がったとき、あるいは機器の故障の際には、一瞬熱いお湯が出ることがあります。

■シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない

突然、熱湯が出てやけどをしたり、冷水が出て思わぬ事故につながる可能性があります。



■ゆらぎのシャワー使用上の注意（浴室リモコン138-R052接続時）

●次の方はゆらぎのシャワーを使用しないでください。

- ①妊娠中の方
- ②医者から入浴を禁じられている方
- ③お酒を飲んだあとや深酒をされた方
- ④高血圧の方
- ⑤体力の弱っている方
- ⑥体調の悪い方



■手のひらで湯温を十分に確認する

- シャワーなどお湯を使う場合、最初に熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のため、シャワーはいきなり頭や体にかけないでください。
- 浴槽の上部と下部で湯温に差がある場合があります。入浴時には十分にかきまぜてから、手で湯温を確認してください。
- 給水温が高い場合やお湯の量を絞って使う場合は、設定温度よりも熱いお湯が出ることがあります。このような場合は湯量を多めにしたり、必要に応じて水を混ぜてから湯温を確認してお使いください。



■給湯使用時はお湯の蛇口が熱くなるのでやけどに注意する

次ページもお読みください



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

やけど防止のため



- 使用中や使用直後は給排気筒トップやその周辺に絶対手を触れない
給排気筒トップやその周辺は高温になっています。絶対に手で触れないでください。

お子さまには



- 浴槽に潜ったりさせない
- お子さまだけで入浴させたりお湯を使わせたりしない
- 機器の周囲や直下で遊ばせない
思わぬ事故の原因になります。
- 浴室で遊ばせない
浴槽に落ちるなど思わぬ事故の原因になります。

ご使用上の注意



- 給湯・シャワー・お風呂へのお湯はり以外の用途には使用しない
思わぬ事故や故障の原因になります。
- 給排気筒トップに指や棒を入れない
故障やけがの原因になります。

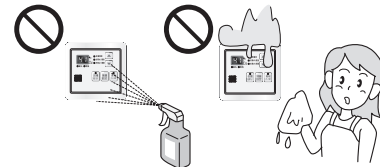
廃棄時の注意



- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼する
お客さまご自身で処理をする場合、乾電池の使用している機器は、必ず乾電池を取りはずしてから正規の処理を行ってください。

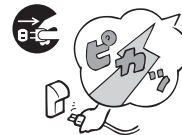
お願い

- リモコンはお子さまがいたずらしないように注意してください。
思わぬ事故や故障の原因になります。
- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。
また、本体操作部や増設リモコンは防水タイプではありませんので水をかけないようにしてください。故障の原因になります。
- 本体操作部や増設リモコンに洗剤をかけたり、水洗いしたりしないでください。また、本体操作部や増設リモコンの周りの壁にかけて垂れた洗剤や水は本体操作部や増設リモコンにかからないように拭き取ってください。洗剤や水が浸入して、故障の原因になります。
- リモコンは乱暴に扱わないでください。故障の原因になります。
- この機器に適合する別売品以外は使用しないでください。
- 運転スイッチを「切」にした状態で、お湯の蛇口を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。
機器内通水部分の結露により、機器の寿命が短くなります。
- 断水時には運転を停止してお湯の蛇口を閉めてください。お湯の蛇口を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。また断水が復帰した後、使い始めのお湯は飲用や調理用などには用いないでください。飲用や調理用に適さない水が給水配管内にとどまることがあります。お湯の蛇口から十分に水を流してから使用してください。
- 機器や配管内に長時間たまっていた水は、飲用や調理用には用いないでください。朝一番などのように長時間使わなかった後、お使い始めのまだぬるいお湯（洗面器一杯程度）は念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用水・調理用水としてお使いください。
- 給水配管が新しい場合や水質によっては、銅イオンがわずかにお湯の中に溶出し、青色の化合物が生成され、浴槽やタオルなどが青く見えることがあります。健康上支障ありませんが、中性洗剤で洗い、すぎをよくすることにより、発色しにくくなります。



■雷が発生したとき

- 雷が発生しはじめたらすみやかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜き、分電盤の専用の漏電ブレーカを「切」にしてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。また、このとき濡れた手で電源プラグにさわらないでください。感電のおそれがあります。
- 雷が遠ざかったことを確かめてから、漏電ブレーカを「入」にして電源プラグがぬれていないことを確認してコンセントにしっかりと差し込み、時刻・温度などの再設定をしてください。



■点火・消火の確認

- 使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

安全上のご注意(設置編)



危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

屋外設置禁止



■この機器は屋内用です

絶対に屋外に設置して使用しないでください。機器に雨水が浸入したり、風で炎があふれて火災の原因となります。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

改造・分解禁止



■絶対に改造・分解は行わない

改造・分解は一酸化炭素中毒など思わぬ事故や故障の原因になります。また、火災の原因になります。

工事は資格必要



■この機器の設置・移動および付帯工事には専門の資格・技術が必要です

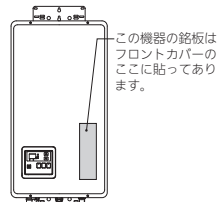
工事は必ずお買い上げの販売店またはもりの大阪ガスに依頼してください。

使用ガスおよび電源の確認



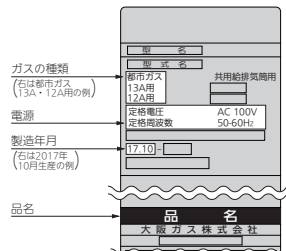
■使用する機器が使用するガスの種類（ガスグループ）および使用する電源（AC100V・50-60Hz共用）に適合していることを機器の銘板で確認する

表示以外のガス種および電源を使用すると不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常点火やけどをしたり、機器が故障する場合がありますので使用しないでください。



この機器はAC100V（50-60Hz）用です。
AC100V以外の電源電圧では使用できません。

※下図は銘板の一例です。



ソーラー接続禁止



■この機器は太陽熱温水器（ソーラーシステム）とは接続しない

熱いお湯が出てやけどをするおそれがあります。



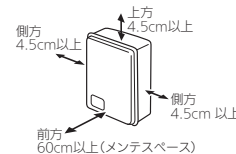
警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



■離隔距離を確保する

機器周辺の物とは常に右図の離隔距離を確保してください。



お願い

■機器の設置状態の確認

●機器の設置について、次の項目をチェックしてください。

- ①機器は傾いて設置されていませんか？
- ②棚の下など落下物の危険はありませんか？（メンテナンスをお断りすることがあります。）
なお、高所作業に必要な足場や作業にかかる費用は、保証期間中であってもお客さまのご負担となります。
- ④近隣の家が騒音（燃焼音・燃焼用送風機やポンプの回転音など）で迷惑にならない場所に設置してありますか？

以上の項目を満足していない場合には、お買い上げの販売店または施工店に連絡し、設置場所を変更してください。

●温泉水や地下水や井戸水は、水質によっては機器の配管内部に異物が付着し、故障することがあります。
その場合は、保証期間内でも修理は有料となります。また、浴槽のお湯の水質を変える機器を使用しないでください。

●この機器は一般家庭用です。業務用として多頻度・長時間のご使用は、機器の寿命を著しく縮めることとなりますのでご承知おください。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

●この機器は海拔1,000mまで使用できます。1,000mを超える地域で使用すると、点火不良などの不具合が発生することがあります。

長期使用製品安全点検制度とは…

長期使用製品安全点検制度とは、平成21年4月1日施行の改正消費生活用製品安全法（消安法）に基づいた「消費者自身による保守が難しく、経年劣化による重大事故の発生のおそれが高い消費生活用製品について、経年劣化による製品事故を未然に防止するため、消費者による点検その他の保守を適切に支援する制度」です。

特定保守製品について

この機器は消費生活用製品安全法（消安法）で指定された特定保守製品です。

所有者登録と法定点検が必要です。

1. 所有者登録をしてください。

付属の「所有者票〔返信用〕」に必要事項を記入して投函してください。

2. 点検時期になったら、点検通知が届きます。

所有者登録をしていただいた方に、点検期間の始まる時期に法定の点検通知をいたします（消安法第32条の12）

3. 法定点検を申し込み、法定点検を受けてください。

この機器の法定点検のお申し込み・お問い合わせは、12ページをご覧ください。

※詳しくは、以下12ページまでをご覧ください。

消費生活用製品安全法（消安法）とは…

消費生活用製品安全法（消安法）とは、「消費生活用製品による一般消費者の生命又は身体に対する危害の防止を図るため措置を講じ、これにより一般消費者の利益を保護することを目的とする」法律です。

特定保守製品とは…

特定保守製品とは、「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等からみてその適切な保守を促進することが適当なもの（消安法第2条第4項）」として指定された製品です。

法定点検（有料）について

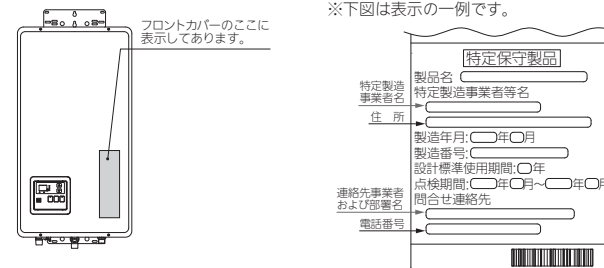
● 特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、製品ごとに設定された点検期間中に法定の点検を受けることが製品の所有者の責務として求められています（消安法第32条の14）。この機器の前面に表示してある点検期間になったら、忘れずに法定点検を受けてください。

● なお、法定点検は、その時点で機器が点検の基準に適合しているかを確認するもので、その後の安全を担保するものではありません。法定点検を受けた後もこの機器を継続して使用する場合は、点検の総合判定に基づいた点検時期（点検員が点検時にお知らせします）に再度点検を受けることが、この機器を安全にお使いいただくために必要となりますのでご注意ください。

機器の表示について

● 特定保守製品は、機器本体に「特定保守製品」・製品名・特定製造事業者等名・製造年月・製造番号・設計標準使用期間・点検期間・問合せ連絡先を表示しています。機器前面の、図に示す位置にこれらが表示されていますので確認してください。

※下図は表示の一例です。



所有者登録について

● 特定保守製品の所有者は、この機器の製造事業者に法定の所有者登録をすることが求められています（消安法第32条の8第1項）。付属の「所有者票〔返信用〕」に必要事項を記入して投函してください。また、特定保守製品の所有者は、引っ越しなどで住所が変わった場合や所有者が変わった場合など所有者登録の内容に変更が生じた場合は、その情報を提供することが求められています（消安法第32条の8第2項）。速やかに12ページの「本製品の点検等に関するお問い合わせ先」にご連絡ください。登録内容の変更を行わないと点検の通知が届かなくなりますので、必ずお知らせください。

● 所有者登録でお知らせいただいた情報は、消安法・個人情報保護法・および当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、リコールなど製品安全に関する重要なお知らせや点検の通知・適切な保守・点検の実施以外には使用いたしません。

【所有者登録の方法】

● 所有者票（返信はがき）でのご登録
所有者票〔返信用〕（返信はがき）に必要事項を記載して投函してください。
紛失などにより所有者票がお手元にない場合、引っ越しなどで住所が変わった場合や所有者が変わった場合など所有者登録の内容に変更が生じた場合は、12ページの「本製品の点検等に関するお問い合わせ先」にご連絡ください。

点検の通知について

● 所有者登録をしていただいた方に、点検期間の始まる時期に法定の点検通知をいたします（消安法第32条の12）。

設計標準使用期間について

- この機器は、設計標準使用期間を10年と算定しており、適切な点検を行わずにこの期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。
- 設計標準使用期間とは、標準的な使用条件（下記の「設計標準使用期間の算定の根拠」参照）で適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、機種ごとに設定されるものです（消安法第32条の3）。保証書にある保証期間とは異なりますのでご注意ください。

設計標準使用期間の算定の根拠

この機器の設計標準使用期間は、製造年月を開始時期とし、JIS S 2071「家庭用ガス温水機器・石油温水機器の標準使用条件及び標準加速モード並びにその試験条件」の「6 標準加速モード」に従って以下の標準使用条件を想定して耐久試験を行い、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終了時期として設定しています。

標準使用条件

家族構成	4人世帯
用 途	洗面・台所・お湯はり・シャワー
季 節	中間期（春・秋）
気温・湿度	20℃・65%
電源電圧・周波数	AC100V・50-60Hz
給水温度	15℃
出湯温度	40℃
1日使用量	456リットル
1日使用時間	1時間
1年使用日数	365日

- この機器を上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境（高温・多湿・寒冷地・海岸近辺（塩害地域）・高地（海拔1,000m以上）・温泉水・井戸水・地下水使用など）などで使用すると、設計標準使用期間より早く経年劣化を起こし、重大事故となるおそれがありますので、機器に表示している点検期間より早く点検を受けてください。
- この機器は一般家庭用です。業務用（ホテル・料理店・美容院などで使用）など、高頻度・長時間のご使用は、設計標準使用期間より早く経年劣化が起きる可能性があります。これに該当するような場合は、次ページの「本製品の点検等に関するお問い合わせ先」までご連絡ください。

点検期間について

- この機器の点検期間は、機器の前面に表示されています。（10ページ「機器の表示について」参照）
- この機器は、設計標準使用期間（10年）の終了時期の前後1年間を点検時期として設定しています。

本製品の点検等に関するお問い合わせ先

- この機器の法定点検のお申し込み・お問い合わせは、下記へお願いいたします。

大阪ガス お客さまセンター

Tel フリーダイヤル 0120-0-94817

受付時間（月～土）：9：00～19：00

（日・祝）：9：00～17：00

- 点検料金について

点検費用は、お客さまにご負担いただくことになります。点検料金については、上記お問い合わせ先にご確認ください。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途、整備費用が発生します。なお、点検料金の設定基準等や、点検要請に対して速やかに対応できるよう配置しておりますサポート拠点については、下記のアドレスからご覧いただけます。

<http://www.osakagas.co.jp/>

- 法定点検は、特定製造事業者等である弊社の社員または弊社が認定した委託業者が行います。

整備用部品の保有期間

整備用部品とは、法定点検の結果、不備が認められた場合、安全性を確保（回復）させるために必要な部品であり、補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）とは異なります。

部 品 名		保有期間
点火・消火に関する部品	点火プラグ・イグナイタ	製造打ち切り後11年
ガス・水通路に関する部品	パッキン・Oリング	
安全装置に関する部品	フレームロッド・バイメタルスイッチ・温度ヒューズ 電流ヒューズ・漏電ブレーカ・サーミスタ	

補修用性能部品の保有期間は45ページをご覧ください。

日常の点検・お手入れについて

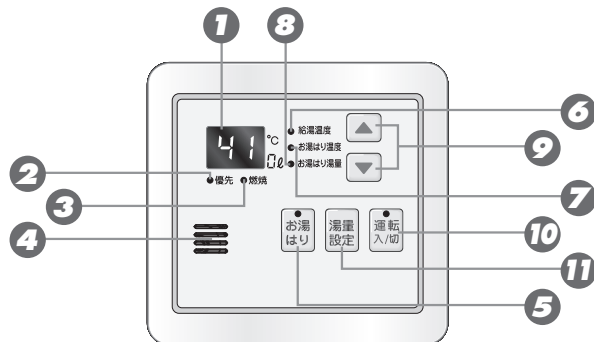
- この機器を安全にお使いいただくために、日常の点検・お手入れを行ってください。
- 日常の点検・お手入れのしかたについては、38ページの「日常の点検とお手入れ」を参照してください。
- 点火不良・異音・異臭・水濡れ・使用中に火が消えるなど、機器の異常に気付いたときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

お使いになる前に

各部のなまえとはたらき（本体操作部・機器本体）

本 体 操 作 部

- 機器フロントカバーに組み込まれています。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作音や音声でお知らせします。
- スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。点灯しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。

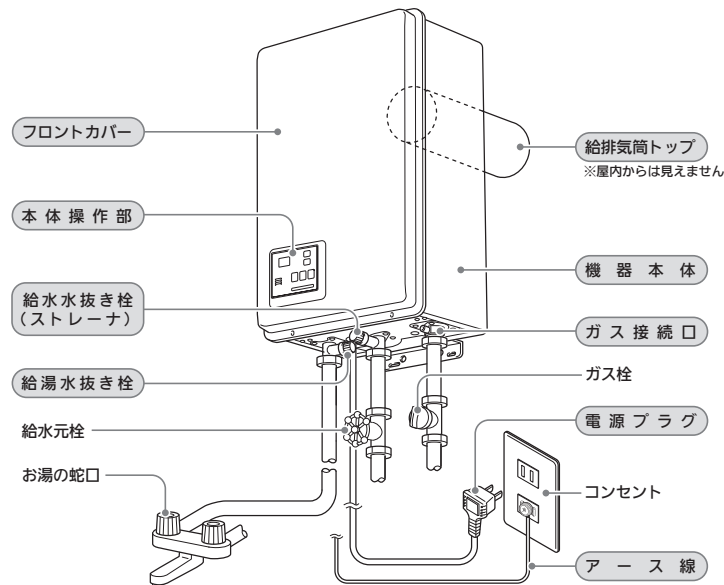


- 1 表示画面**
給湯温度、お湯はり温度、お湯はり湯量、故障表示を表示します。
- 2 優先表示ランプ（オレンジ）**
この表示が点灯中は給湯温度が変えられます。
- 3 燃焼表示ランプ（赤）**
機器が燃焼しているときに点灯します。
- 4 スピーカー**
ここから音声や操作確認音が出ます。
- 5 お湯はりスイッチ／ランプ（赤）**
お風呂にお湯はりするときに押します。（23ページ参照）
- 6 給湯温度ランプ（赤）**
給湯温度を表示中に点灯します。
- 7 お湯はり温度ランプ（赤）**
お風呂へのお湯はり中に点灯します。
- 8 お湯はり湯量ランプ（赤）**
お風呂へのお湯はり湯量の設定を変えるときに点灯します。
- 9 給湯温度スイッチ**
給湯温度を変えるときに押します。また、その他の設定を変えるときにも使います。（20ページ参照）
- 10 運転スイッチ／ランプ（黄緑）**
お湯を使うときやお風呂にお湯はりをするときは「入」（表示画面・運転ランプ：点灯）にします。
- 11 湯量設定スイッチ**
お風呂へのお湯はり湯量を設定するときに押します。

お願い

- スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が届かなくなったり、スピーカー部には水がかからないようにご注意ください。
- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確認してください。

機 器 本 体



- 図は一例です。給水元栓・ガス栓・コンセント・お湯の蛇口・配管の形状などは、この図と異なることがあります。

【ご注意】

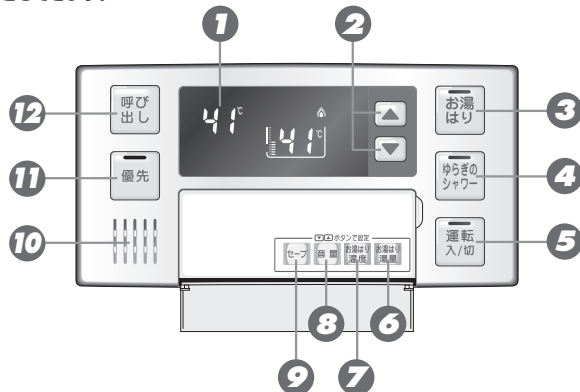
本体操作部に時計機能がないため、浴室リモコン、増設リモコンとも時計表示機能は働きません。故障表示機能は働きます。

次ページもお読みください

各部のなまえとはたらき（浴室リモコン）

浴室リモコン（スイッチ）（別売品 138-R052）

- 浴室に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。また、呼び出しスイッチを押すと台所リモコン・増設リモコンのブザーが鳴り、台所などにいる人を呼び出すこともできます。



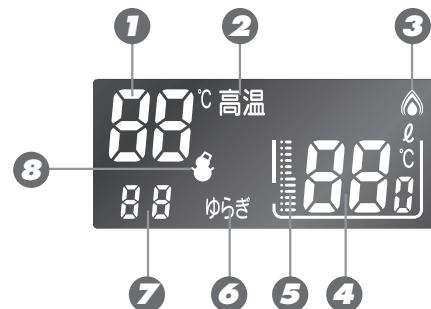
- 1 表示画面**
お湯の温度や運転状態などを表示します。
- 2 給湯温度スイッチ**
給湯温度を変えるときに押します。
また、その他の設定を変えるときにも使います。
- 3 お湯はりスイッチ／ランプ（赤）**
お風呂に湯はりをするときに押します。
(23ページ参照)
- 4 ゆらぎのシャワースイッチ／ランプ（黄緑）**
ゆらぎのシャワーを使うときに押します。
(33ページ参照)
- 5 運転スイッチ／ランプ（黄緑）**
お湯を使うときやお風呂に湯はりをするときは押して「入」（表示画面・運転ランプ点灯）にします。
もう一度押すと「切」になります。
- 6 お湯はり湯量スイッチ**
お風呂への湯はり量を変えるときに使います。
(27ページ参照)
- 7 お湯はり温度スイッチ**
お風呂への湯はり温度を変えるときに使います。
(29ページ参照)
- 8 音量スイッチ**
音声の大きさ（音量）を変えるときに使います。
(30ページ参照)
- 9 セーブスイッチ**
画面表示の節電設定を変えるときに使います。
(31ページ参照)
- 10 スピーカー**
ここから音声や操作音が出ます。
- 11 優先スイッチ／ランプ（オレンジ）**
給湯温度の優先権を切り替えるときに押します。
(22ページ参照)
- 12 呼び出しスイッチ**
押すと台所リモコン・増設リモコンのブザーが鳴ります。（このスイッチにランプはありません）
(32ページ参照)

お願い

- スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が届かなくなり、スピーカー部には水がかからないようご注意ください。
- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確認してください。

浴室リモコン（表示画面）

- スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。
点灯しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。



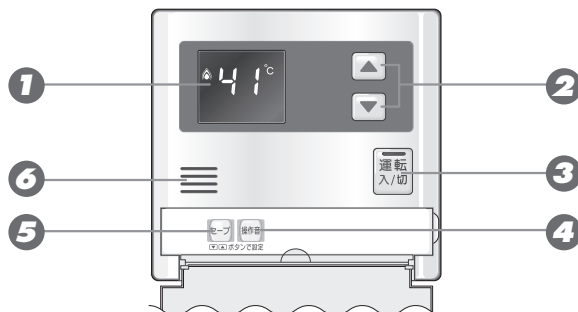
- 1 給湯温度表示（単位℃を含む）**
給湯温度のめやすを表示します。
- 2 高温表示（赤）**
給湯温度が60℃に設定されているとき点灯します。
- 3 燃焼表示（赤）**
機器が燃焼しているとき点灯します。
- 4 湯はり温度表示（単位℃を含む）**
お風呂への湯はり温度のめやすを表示します。
湯はり湯量表示（単位を含む）
湯はり量設定時は湯はり温度表示が湯はり湯量表示に変わります。
- 5 水位表示**
お風呂への湯はり量のめやすを表示します。
実際の浴槽での水位とは一致しません。
- 6 ゆらぎ表示**
この表示が点灯中はゆらぎのシャワーが使用できません。
- 7 故障表示**
機器や使用方法に不具合があったときに点滅します。（43ページ参照）
- 8 凍結予防表示**
機器が自動的に凍結予防運転を行っているときに点灯します。

次ページもお読みください

各部のなまえとはたらき（増設リモコン）

増設リモコン（スイッチ）（別売品 138-R003）

- 洗面所などにこのリモコンを取り付ければ、手もとで給湯温度を変えることができます。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音でお知らせします。



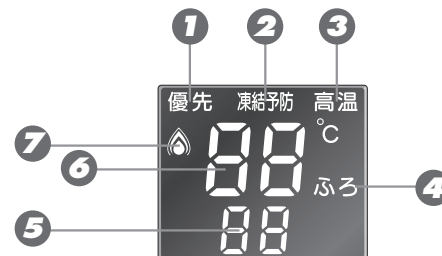
- 1 表示画面**
お湯の温度や運転状態などを表示します。
- 2 給湯温度スイッチ**
給湯温度を変えるときに押します。
また、その他の設定を変えるときにも使います。
- 3 運転スイッチ／ランプ（黄緑）**
お湯を使うときは押して「入」（表示画面・運転ランプ点灯）にします。もう一度押すと「切」になります。
- 4 操作音スイッチ**
操作音を消すときに使います。（35ページ参照）
- 5 セーブスイッチ**
画面表示の節電設定を変えるときに使います。（31ページ参照）
- 6 スピーカー**
ここから操作確認音が出ます。

お願い

- スピーカーの穴に水滴が入ると、操作確認音が聴こえにくくなります。リモコン（特にスピーカー部）には水がかからないようにご注意ください。
- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確認してください。

増設リモコン（表示画面）

- スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。点灯しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。



- 1 優先表示（オレンジ）**
この表示が点灯中は給湯温度が変えられます。
- 2 凍結予防表示**
機器が自動的に凍結予防運転を行っているときに点灯します。
- 3 高温表示（赤）**
給湯温度が60℃に設定されているとき点灯します。
- 4 ふろ表示（オレンジ）**
お風呂への湯はり温度を表示しているときに点灯します。
- 5 故障表示**
機器や使用方法に不具合があったときに点滅します。（43ページ参照）
- 6 給湯・ふろ温度表示（単位℃を含む）**
給湯温度のめやすを表示します。
ふろ表示点灯中は、お風呂への湯はり温度を表示します。
- 7 燃焼表示（赤）**
機器が燃焼しているときに点灯します。

お使いになる前に

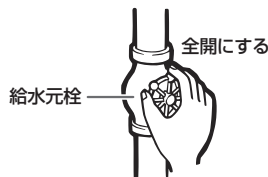
(つづき)

初めて使うとき

機器が使えるように準備します。

1 給水元栓を全開にする

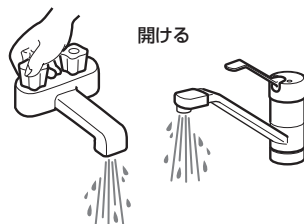
給水元栓は機器の下部にあります。



2 水が出ることを確認する

台所・浴室・洗面所など、お湯を使う場所のすべてのお湯の蛇口を開けて確認します。

- ※ 水が出ることを確認したら、お湯の蛇口を閉めてください。
- ※ サーモスタット式やワンレバーの混合水栓の場合は、最高温度の位置にした状態で確認してください。
- ※ 確認後は使用時の設定温度に戻してください。

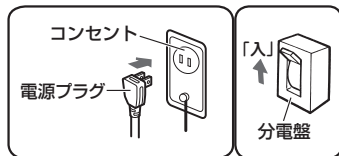


3 電源プラグをコンセントに差し込み、分電盤のスイッチを「入」にする

コンセントは機器付近の壁などにあります。

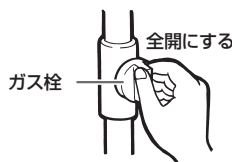
⚠ 警告

ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。
感電のおそれがあります。



4 ガス栓を全開にする

ガス栓は機器の下部にあります。



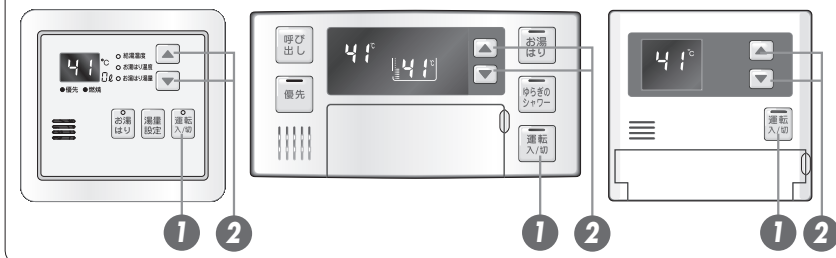
給湯温度を調節する

● 本体操作部およびどのリモコンでも操作できます。

本体操作部

浴室リモコン (138-R052型)

増設リモコン (138-R003型)



1 運転スイッチを「入」にし、優先ランプが点灯していることを確認する。

● 点灯していないときは22ページをご覧ください。

2 給湯温度スイッチ (▲ ▼) を押して、給湯温度を設定する。

- ▲または▼を押すと、「給湯温度を〇〇℃に設定しました」とお知らせします。
 - ▼または▲を押し続けると、45℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、46℃以上になるときはスイッチを1回ずつ押してください。
- ※ 優先権のあるリモコンでのみ設定できます。
※ お湯はり運転中は、給湯温度を変更できません。

画面表示 / 補足

本体操作部

浴室・増設リモコン



本体操作部

浴室リモコン

増設リモコン



優先表示

給湯温度調節範囲



本体操作部

浴室リモコン

増設リモコン



- ※ 調節できる温度は37℃～60℃の14段階です。
- 1回スイッチを押すごとに1段階ずつ変わります。
- 上図は60℃に設定した場合ですが、実際の温度は季節や配管の長さによって異なります。およそのめやすとお考えください。
- ※ 低い給湯温度に設定した場合、給水温度の高い条件では設定温度よりも熱いお湯が出ることもありますが異常ではありません。
- ※ 給湯設定温度を60℃にセットすると「あつのお湯が出ます」「給湯温度を60℃に設定しました」とお知らせします。
- ※ 増設リモコンには音声のお知らせはありません。

給湯温度を調節する

(つづき)

- お湯の蛇口を開くとお湯が出ます。
※お湯を使っている間は、表示画面に右下図のような燃焼表示をします。
※湯量を絞るすぎると(毎分約2リットル以下にする)と給湯器バーナの火が消えます。

お知らせ

- ・お買い上げの際には、お湯の温度を42℃に設定してあります。
- ・給湯温度が高い場合は、リモコンの給湯温度表示よりも熱いお湯が出る場合があります。
- ・おふろへお湯はり中は、ふろ温度のお湯が出ます。また、表示画面の数字もふろ温度になります。
- ・リモコンの運転スイッチ「入」「切」やお湯の蛇口の開閉時または給湯使用後しばらくするとモーターが動く音がすることがありますが、これは再使用時の点火をより早くし、お湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音で異常ではありません。

警告

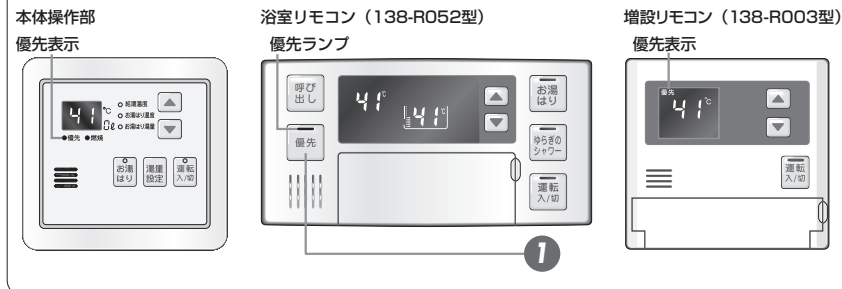
- 高温でお湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。
- おふろ(特にシャワー)の使用中は絶対に本体操作部またはリモコンの運転スイッチを「切」にしないでください。(お湯が急に水になります)
- やけど防止のため、おふろ(特にシャワー)の使用中は絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。シャワーの温度もこの給湯温度スイッチで決まります。

※本体操作部またはリモコンの運転スイッチが「切」の状態の水を使用する場合、混合水栓は必ず「水」の位置で使用してください。「湯」の位置で水を流すと、機器内が結露して点火不良や故障の原因になります。



優先スイッチの使いかた(浴室リモコン接続時のみ)

浴室と給湯配管先には、同じ温度のお湯を供給します。(1つの機器に接続されているすべてのリモコンで、常に同一の給湯温度を表示します)
お湯を使用中に他の人が給湯温度を変えると、お湯の温度が変わり、やけどをすることがあります。このような事故を防止するため、どちらか一方の(優先権のある)リモコンでしか温度を変えられないようになっています。(別売のリモコンを1台以上設置の場合)



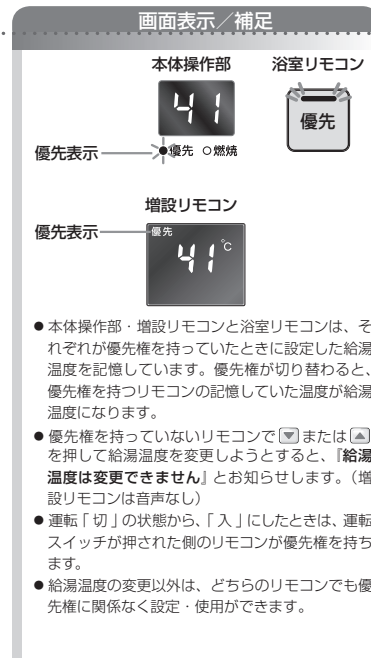
1 浴室リモコンの優先スイッチを押す。

- 音声で「給湯温度が変更できます」とお知らせして優先スイッチのランプ(オレンジ)が点灯し、給湯温度を変更できる優先権を持つことができます。
- 優先スイッチを1回押すごとに、優先権が以下のように交互に切り替わります。
「浴室リモコン」→「本体操作部・増設リモコン」

- 優先権の表示
浴室リモコンが優先：
優先スイッチのランプ(オレンジ)が点灯します。

本体操作部・増設リモコンが優先：
優先ランプ(オレンジ)の点灯(本体操作部)、表示画面に「優先」(オレンジ)が点灯します。(増設リモコン)

- 本体操作部で給湯温度の変更ができないときは、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして、優先ランプ(オレンジ)を点灯させます。



- 本体操作部・増設リモコンと浴室リモコンは、それぞれが優先権を持っていたときに設定した給湯温度を記憶しています。優先権が切り替わると、優先権を持つリモコンの記憶していた温度が給湯温度になります。
- 優先権を持っていないリモコンで▼または▲を押して給湯温度を変更しようとする、給湯温度は変更できません」とお知らせします。(増設リモコンは音声なし)
- 運転「切」の状態から「入」にしたときは、運転スイッチが押された側のリモコンが優先権を持ちます。
- 給湯温度の変更以外は、どちらのリモコンでも優先権に関係なく設定・使用ができます。

お湯はりのオート止水機能の使いかた

●本体操作部または浴室リモコンで操作します。(増設リモコンではこの操作はできません)

お知らせ

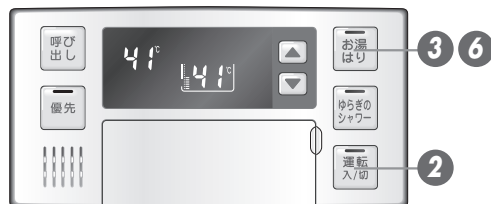
浴室にお湯はりする前に

- ・サーモスタート式やワンレバーの混合水栓の場合は、水栓の設定温度を最も高温にしておいてください。
- ・サーモスタート式やワンレバーの混合水栓の場合は、水栓の構造上完全に水が止まらないことがありますのでご注意ください。詳しくは 25 ページの解説をご覧ください。

本体操作部



浴室リモコン (138-R052型)



画面表示／補足

1 浴槽に排水栓とフタをする。



2 運転スイッチのランプ(黄緑)が点灯していることを確認する。

- 点灯していない場合は、運転スイッチを押します。

本体操作部



浴室リモコン



お知らせ

- ・お湯はり湯量やお湯はり温度の調節方法は、27～29 ページをご覧ください。

3 お湯はりスイッチを押す。

- 「浴槽へお湯を入れる準備ができました。ふろのお湯の蛇口を開いてください。」とお知らせしてお湯はりスイッチのランプ(赤)が点灯します。また、本体操作部の表示画面の数字はふろ温度になります。

4 お湯の蛇口を開ける。

- お湯はりが始まり、表示画面には右図の表示が出ます。

画面表示／補足

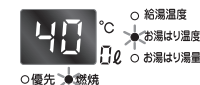
本体操作部



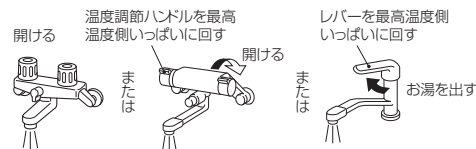
浴室リモコン



本体操作部



浴室リモコン



お知らせ

- ・お湯はりを途中で止めたいときは、設定湯量の半分以下で止める場合は、お湯の蛇口を閉めてからお湯はりスイッチを押して「切」にします。設定湯量が半分以上で止める場合は、お湯の蛇口を開ければお湯はりスイッチは自動的に「切」になります。

5 お湯はり終了のお知らせブザー(もしくは音声)が鳴ったら、蛇口を閉める。

- 「お湯はりが終わりました。ふろの蛇口を閉めてから、お湯はりスイッチを押してください。」と2回お知らせして、お湯はりスイッチのランプ(赤)が点滅します。

本体操作部



浴室リモコン



お湯はりのオート止水機能の使いかた(つづき)

6 お湯はりスイッチを押す。

- お湯はりスイッチのランプ（赤）が消灯し、本体操作部の表示画面の数字がふる温度から給湯温度に戻ります。

画面表示／補足

本体操作部



浴室リモコン



お願い

- ・サーモスタート式やワンレバーの混合水栓の場合は、お風呂へのお湯はりが終わったら水栓の設定温度を必ずやけどのおそれない温度に戻しておいてください。

お知らせ

- ・夏期など給湯温度が高い場合は、設定温度よりも熱いお湯を設定湯量より少なめにお湯はりしたり、機器に点火せず水をはる場合がありますが異常ではありません。設定温度よりも熱いお湯がお湯はりされた場合は、水を混ぜて適温にしてください。
- ・「混合水栓」をお使いの場合は、その機構により冷水が少量出たままになることがあります。必ず開閉ハンドルを閉めてください。詳しくは下の解説をご覧ください。
- ・お湯の蛇口を閉め忘れと、あとでお湯が使用できなくなりますのでご注意ください。詳しくは 26 ページをご覧ください。
- ・お湯はりに中に他の蛇口でお湯を使用すると、浴槽へのお湯はり量が設定湯量より少なくなります。

お願い

- ・お湯はりに中に停電があった場合は、お湯はりの蛇口から水が出続けます。
- ・停電に気が付いたら、いったんお湯はりの蛇口を閉めてください。
- ・設置・通電から約6時間経過した機器を停電中そのままにしておくと、停電復帰後に水は止まりますが、リモコンの表示画面に故障表示「E3」が点滅します。この場合はお湯はりの蛇口を閉めてから、リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。

? 解説

混合水栓をご使用の場合

- 混合水栓での温度設定が低かったり、また冷水側が開いていた場合には、冷水が回りこんで、リモコンで設定したお湯はり温度よりもぬるいお湯がでたり、お湯はり量が設定より多くなることがあります。
- サーモスタート式やワンレバーの混合水栓の場合は、お湯はりが終了して機器が自動的にお湯を止めた後も、冷水が少量、出たままになることがあります。これは異常ではありませんが、そのまま放置するとお湯の温度がぬるくなったり浴槽からお湯があふれることがあります。お湯はり終了のお知らせブザー（もしくは音声）が鳴りましたらすぐに混合水栓の開閉ハンドルを閉めてください。



※イラストはサーモスタート式混合水栓の一例です。



※イラストはワンレバー式の温度調整機能付き混合水栓の一例です。

お湯が出なくなったら

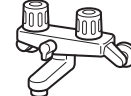
お知らせ

- ・お湯はりスイッチを使ってお湯はり操作するとお湯はりは自動的に終了しますが、お湯の蛇口を閉め忘れとお湯が使えなくなります。どこかのお湯の蛇口を開いてもお湯が出てこない場合は、必ず下記の手順に従ってお湯はり運転を解除してください。

1 いったんすべてのお湯の蛇口を閉める。

- 浴槽だけでなくその他の場所も開いたままになっていないかご確認ください。

閉める



2 お湯はりスイッチを押す。

- お湯はりスイッチのランプ（赤）が消灯します。
- これで再びお湯が使えるようになります。この機器は使用状況によってさまざまな音声でお知らせします。下記はその一例ですが、これ以外の音声が出た場合もその指示に従って操作してください。

本体操作部



浴室リモコン



こんな音声が出るのはどんなとき？

「蛇口が開いていませんか？一度すべての蛇口を閉めてください。」

すべての蛇口を閉めずに点滅中のお湯はり（または運転）スイッチを押すと、お湯はり（または運転）スイッチは消灯しますが約1分間少量のお湯（または水）を流しながらこの音声が出ます。すべての蛇口を閉めてください。

「お湯が使用できません。すべての蛇口を開けてからお湯はりスイッチを押してください。」

上記の約1分間少量のお湯が出ている間に蛇口が開けられなかった場合は2回、お湯はりにお湯はりスイッチを押してしまった場合は1回、この音声が出て機器が自動的に止水します。お湯はりスイッチは点滅したままになりますので、必ずすべての蛇口を閉めてからお湯はりスイッチを「切」にしてください。

「すべての蛇口を閉めてから運転スイッチを押してください。」

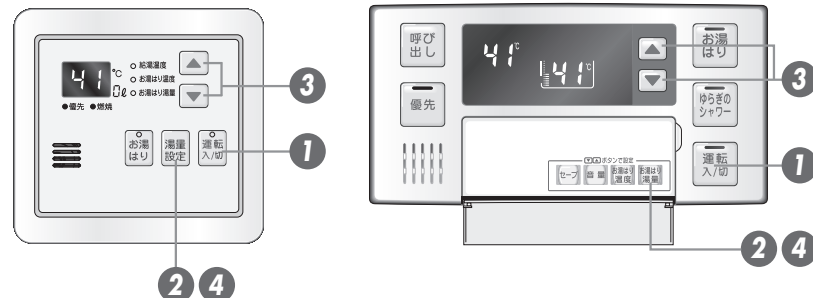
お湯はりに運転スイッチを押して「切」にしたまま約1分以上蛇口を開けずにいると、この音声が出ると、リモコンの表示画面には故障表示「E3」が点滅します。音声に従い、すべての蛇口を閉めてから運転スイッチを押してください。

お湯はり湯量を調節する

●本体操作部または浴室リモコンで操作します。(増設リモコンではこの操作はできません)

本体操作部

浴室リモコン (138-R052型)



1 運転スイッチのランプ（黄緑）が点灯していることを確認する

●点灯していない場合は、運転スイッチを押します。

画面表示／補足

本体操作部

浴室リモコン



2 浴室リモコンの場合はフタの中にあるお湯はり湯量スイッチを、本体操作部の場合は湯量設定スイッチを押す。

●右の画面が表示されます。
画面の数字は次頁の表の湯量です。

本体操作部



浴室リモコン



- 湯はり量とは、浴槽に湯はりするお湯のめやすの量をいいます。
- はじめて電源を「入」にしたときは180リットルになっています。このときの水位表示は下から5番目で表示されます。

3 給湯温度スイッチ（▲▼）を押して、湯はり量を変更する。

▲水位表示が1目盛ずつ上がり、湯量も上がります。

▼水位表示が1目盛ずつ下がり、湯量も下がります。

水位のめやす

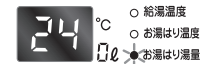
水位表示(下から)		湯量(リットル)
表示なし		(990)
		(400)
12		350
11		300
10		280
9		260
8		240
7		220
6		200
5		180
4		160
3		140
2		120
1		100
(1)		(80)
(1)		(60)

4 浴室リモコンの場合はフタの中にあるお湯はり湯量スイッチを、本体操作部の場合は湯量設定スイッチを押す。

●『設定しました』とお知らせして、設定が完了します。

画面表示／補足

本体操作部



浴室リモコン



- お子さまのイタズラなどを防止するため、400リットルや990リットルおよび80リットルや60リットルに設定するときには、▲または▼を1秒以上押し続けなければ設定できないようになっています。

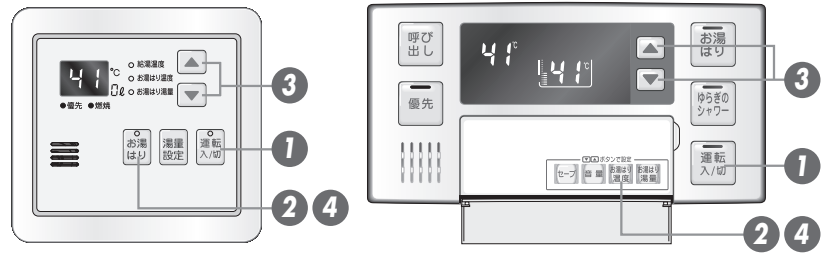
※スイッチを押さなくても、そのまま1分経過すると自動的に設定が完了します。

お湯はり温度を調節する

●本体操作部または浴室リモコンで操作します。(増設リモコンではこの操作はできません)

本体操作部

浴室リモコン (138-R052型)



画面表示／補足

1 運転スイッチのランプ (黄緑) が点灯していることを確認する。

●点灯していない場合は、運転スイッチを押します。

2 浴室リモコンの場合はフタの中にあるお湯はり温度スイッチを、本体操作部の場合はお湯はりスイッチを押す。

本体操作部の場合

●表示画面の給湯温度表示がお湯はり温度表示に変わります。

浴室リモコンの場合

●表示画面が右図の表示になります。

※工場出荷時は42℃に設定されています。

3 給湯温度スイッチ (▲▼) を押して、ふろ温度を設定する。

●▲または▼を押すと、「お湯はり温度を○○℃に設定しました」とお知らせします。

●▲を押し続けると、45℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、46℃以上にしたいときはスイッチを1回ずつ押してください。

●▼を押し続けると、連続で表示が変わります。

4 浴室リモコンの場合はフタの中にあるお湯はり温度スイッチを、本体操作部の場合はお湯はりスイッチを押す。

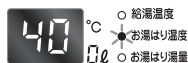
●設定が完了します。

本体操作部

浴室リモコン



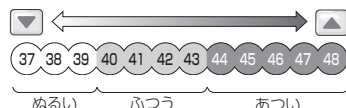
本体操作部



浴室リモコン



※温度表示はめやすです。



※本体操作部のお湯はり温度表示が給湯温度表示に変わります。

※スイッチを押さなくても、そのまま1分経過すると自動的に設定が完了します。

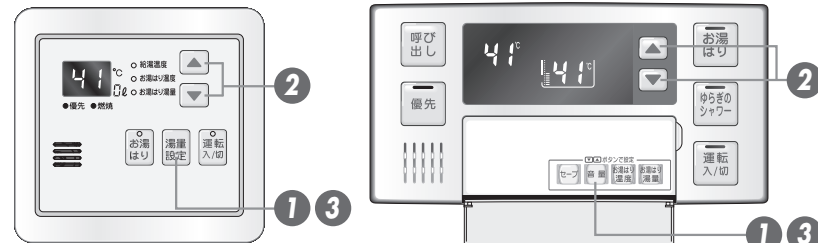
音声の大きさ (音量) を変更する

●本体操作部または浴室リモコンで操作できます。(増設リモコンではこの操作はできません)

各リモコン別々の音量に設定することができます。

本体操作部

浴室リモコン (138-R052型)



●本体操作部は運転スイッチが「切」のときのみ設定できます。浴室リモコンは運転スイッチが「入」「切」どちらの状態でも設定できます。

1 浴室リモコンの場合はフタの中にある音量スイッチを、本体操作部の場合は湯量設定スイッチを押す。

●表示画面に音量「-」「0」「1」「2」「3」で表示されます。

2 給湯温度スイッチ (▲▼) を押して、音量を変更する。

●お買い上げの際には中 (標準) にセットされています。

音声と湯はり完了の音量については、下表のように変わります。

▲▼スイッチを押したときにお知らせする音声	リモコンの表示	音 声
▲を押す (ビッ) 音声は大きです	3	大
初期設定 (ビッ) 音声は標準です	2	中
▼を押す (ビッ) 音声は小さです	1	小
▲を押す (ビッ) 音声を消します	0	なし (ブザー音：中)
▼を押す (ビッ) 音声を消します	—	なし

●音声および音を消しても、注意を喚起する音声およびブザー音だけは消すことはできません。

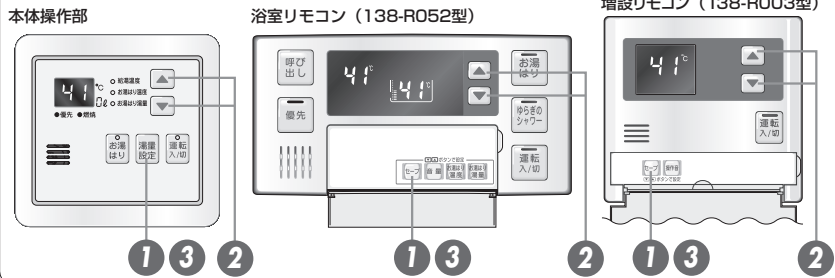
3 浴室リモコンの場合はフタの中にある音量スイッチを、本体操作部の場合は湯量設定スイッチを押す。

●設定が完了します。

※スイッチを押さなくても、そのまま1分経過すると自動的に設定が完了します。

リモコン表示を節電する(セーブモード)

- この機器にはリモコン表示を節電する「セーブモード」があり、各リモコンごとに「入」「切」の設定ができます。
- セーブモードとは、リモコンの待機電力の低減(省電力)を目的とした機能です。セーブモードが「入」または「切」のときは、時間が経過すると自動的に表示が消えます。



- 本体操作部は運転スイッチが「切」のときのみ設定できます。浴室・増設リモコンは運転スイッチが「入」「切」どちらの状態でも操作できます。

1 浴室・増設リモコンの場合はフタの中にあるセーブスイッチを1回、本体操作部の場合は湯量設定スイッチを2回押す。

- 表示画面に「入」または「切」(セーブモード入)が「-」または「OFF」(セーブモード切)が表示されます。
- お買い上げの際には、セーブモードは「入」「切」に設定されています。

2 「-」「OFF」になっている場合は、給湯温度スイッチ(▲▼)を押して「入」「切」にする。

3 浴室・増設リモコンはフタの中にあるセーブスイッチを、本体操作部は湯量設定スイッチを押す。

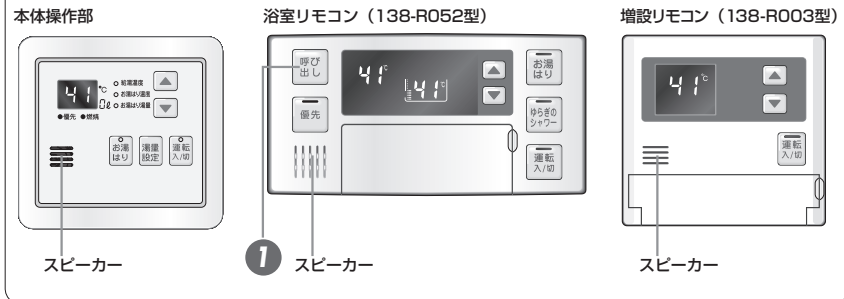
- 『設定しました』とお知らせして設定が完了します。
- 設定を解除するときは①～③の操作で「-」「OFF」にします。

お知らせ

- ・リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、給湯を使用してから約25分経過すると表示画面が消えて、運転スイッチのランプ(黄緑)のみ点灯します。浴室リモコンに優先権がある場合は、優先スイッチのランプ(オレンジ)も点灯します。ただし、給湯栓を一度も開けていない状態では、表示画面は消えません。一度給湯を使用してください。機器を再使用したり、いずれかのスイッチを押すと、表示画面が再び点灯します。給湯温度スイッチ・運転スイッチ以外のスイッチを押すと、表示画面が再び点灯するとともに、押したスイッチの動作が開始されます。
- ・湯はり運転中および給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため表示の節電(セーブモード)機能は働きません。
- ・電源プラグが抜けた場合や停電後には、セーブモードの設定が「入」「切」(「入」の状態)になることがあります。

浴室から人を呼びたいとき

- 本体操作部と浴室リモコンを設置している場合、浴室リモコンで操作して本体操作部・増設リモコンで呼び出し音を鳴らすことができます。

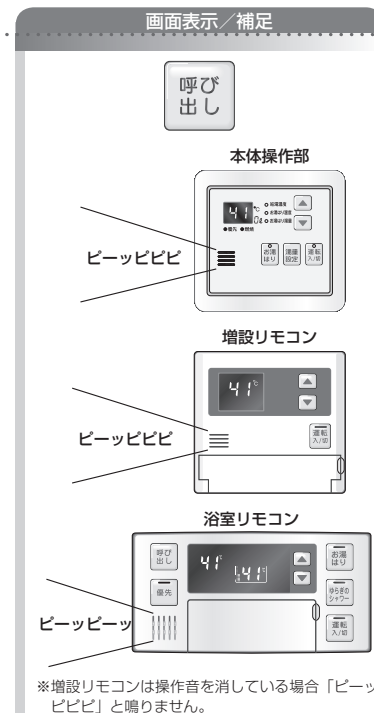


- 運転スイッチが「切」または「入」のどちらの状態でも呼び出し操作ができます。

1 浴室リモコンの呼び出しを押す。

本体操作部および増設リモコンのスピーカー：
「ピーッビビビ」と5回鳴ります。

浴室リモコンのスピーカー：
呼び出しスイッチを押している間
「ピーッビッ」と鳴ります。



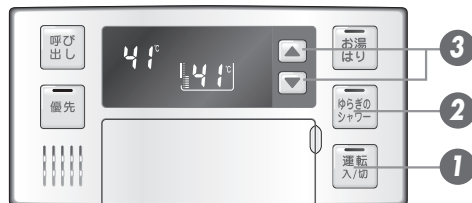
※増設リモコンは操作音を消している場合「ピーッビビビ」と鳴りません。

ゆらぎのシャワーの使いかた(浴室リモコン接続

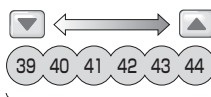
時のみ)

●浴室リモコンで操作します。(他のリモコンにはこの機能がありません)

浴室リモコン (138-R052型)



画面表示／補足



ゆらぎのシャワー温度

※給湯設定温度が上記以外のときにゆらぎのシャワースイッチを押すと、設定温度が37℃・38℃のときには39℃、45℃以上のときには44℃のゆらぎのシャワーになります。

1 運転スイッチのランプ(黄緑)が点灯していることを確認する。

- 点灯していない場合は、運転スイッチを押します。

2 ゆらぎのシャワースwitchを押す。

- ゆらぎのシャワースwitchのランプ(黄緑)が点灯します。
- 表示画面に「ゆらぎ」が表示されます。
- 浴室リモコン以外のリモコンが優先権(22ページ参照)を持っていた場合は、浴室リモコンに優先権が切り替わり、優先スイッチのランプ(オレンジ)が点灯します。

3 給湯温度スイッチ(▲▼)を押して、シャワーの温度を設定する。

- 設定できる温度は39～44℃の6段階です。

画面表示／補足

4 シャワー栓を開いてゆらぎのシャワーを出す。

- ゆらぎのシャワーは連続15分使用するとキャンセルされ、その後は④で設定した温度のお湯が出ます。
- シャワー栓を閉めると、ゆらぎのシャワーは自動的に終了し、ゆらぎのシャワースwitchのランプ(黄緑)と表示画面のゆらぎの表示が消えます。

※ゆらぎのシャワー使用中に他の給湯栓でお湯を使うと、ゆらぎのシャワー同様に湯温が変化しながら出てきます。

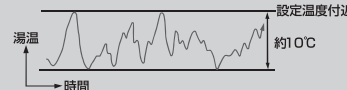
※ゆらぎのシャワー使用中に浴室リモコンの優先スイッチを押すと、優先権が本体操作部および増設リモコンに移り、給湯設定温度も本体操作部および増設リモコンで設定されていた温度に戻りますので、ゆらぎのシャワー使用中は優先スイッチを押さないでください。

お知らせ

・ゆらぎのシャワーとは、リモコンで設定された給湯温度とそれより約10℃ぬるい温度間で、毎回違ったパターンで湯温がゆらぎながら出てきます。

※給湯配管の条件によっては、上記の温度間より高めや低めのお湯が出る場合があります。

・湯あがりの体が暖まっているときにゆらぎのシャワーを使用すると、湯だめの防止、全身のマッサージとともに心身のリフレッシュにも効果があります。さらに、朝のめざまし促進にも有効です。



警告

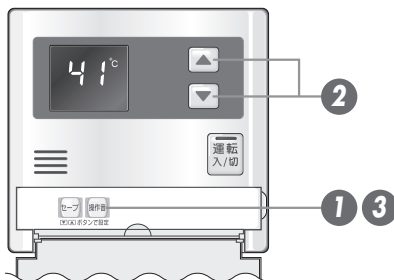
- 高温で給湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。
- やけど防止のため、お風呂(特にシャワー)の使用中は、絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。
- 下記の方はゆらぎのシャワーを使用すると体調をくずすことがあります。
 - ・妊娠中の方
 - ・医者から入浴を禁じられている方
 - ・お酒を飲んだあとや深酒をされた方
 - ・高血圧の方／体力の弱っている方／体調の悪い方

注意

- 給水温が高い場合や、シャワー流量が少ない場合、またサーモスタート式混合水栓などの付いたシャワーでは快適なゆらぎのシャワーの効果が得られないことがあります。
 - サーモスタート式混合水栓の場合は、サーモスタートを高温設定にして水を混ぜずにお使いください。
- なお、やけど防止のため使用後はもとの設定に戻しておいてください。

増設リモコンの操作音を消す

増設リモコン (138-R003型)



●運転スイッチが「切」「入」のどちらの状態でも設定できます。

1 増設リモコンのフタを開け、操作音スイッチを押す。

●表示画面に「ON」または「OFF」が表示されます。

2 「ON」になっている場合は、給湯温度スイッチを押して「OFF」にする。

- 「OFF」にしたときは「ビッピッ」と鳴ります。
- 「ON」にしたときは「ビッピビッ」と鳴ります。

3 操作音スイッチを押す。

- 設定が完了します。
- 設定を解除するときは①～③の操作で「ON」にします。

画面表示 / 補足

増設リモコン



※「OFF」になっている場合、すでに音を消した状態になっています。

※操作音スイッチを押さなくても、そのまま1分経過すると自動的に設定が完了します。

冬期の凍結による破損防止について

暖かい地域でお使いのお客さまも必ずお読みください。

⚠ 注意

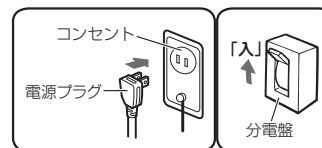
- 冬期は暖かい地方でも、給水・給湯配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を防止するために、次のような処置をお取りください。
- 外気温が極端に低く（－15℃以下）なる日や、それ以上の気温でも風のある日は対策その①では凍結予防ができなくなります。このような場合には、対策その②、その③の方法を行ってください。
- 凍結による破損の場合は、保証期間内でも有料修理となります。

対策その1 凍結予防ヒータによる方法

この機器には、外気温が下がると自動的に機器内を保温するヒータが組み込まれています。

■お客さまに行っていただきたいこと

- 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。抜けているとヒータが作動しませんのでご注意ください。本体操作部の運転スイッチは「入」「切」どちらの状態でも作動します。

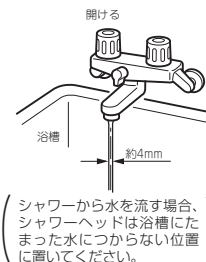


対策その2 お湯の蛇口から水を流す方法

この場合は機器本体だけでなく、給水・給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。

■操作のしかた

- 本体操作部の運転スイッチを「切」にします。
 - ガス栓が全開になっていることを確認してください。
 - 浴槽に排水栓をしてお風呂のお湯の蛇口を開け、1分間に約400ミリリットルの水を浴槽に流しておいてください。
- ※この場合、浴槽から水があふれることがあります。
- ※サーモスタット式やワンレバーの混合水栓の場合は、設定を最高温度の位置にしてください。
- ※浴槽の近くにお湯の蛇口がない場合は、シャワーホースを浴槽まで伸ばしてシャワー栓を開けてください。



（シャワーから水を流す場合、シャワーヘッドは浴槽にたまった水につからない位置に置いてください。）

⚠ 注意

- 水量が不安定なことがあります。念のため、30分ぐらい後にもう一度水量をご確認ください。
- サーモスタット式やワンレバーの混合水栓の場合は、再使用時の設定温度にご注意ください。

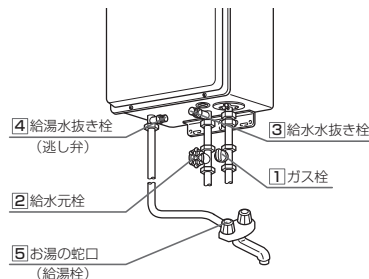
冬期の凍結による破損防止について(つづき)

対策その3 水抜きによる方法

機器内の水を抜き、凍結を予防する方法です。外気温が極端に低くなる場合は、この方法で行ってください。また、長期間にわたって機器を使用しないときも、必ずこの《水抜き》を行ってください。

※機器の使用直後は機器内のお湯が高温になっていますので、やけど防止のため、必ず機器が冷めてから行ってください。

- ①ガス栓①・給水元栓②を開めてください。
 - ②本体操作部の運転スイッチを「切」にしてください。
ただし、別売の浴室リモコンが接続されている場合は、お湯は運転が解除されていることを確認してから行ってください。
 - ③電源プラグを抜いてください。(分電盤の専用スイッチを「切」にしてください)
 - ④お湯の蛇口⑤をすべて(シャワーなどを含む)全開にしてください。
 - ⑤給水水抜き栓③・給湯水抜き栓④を開けてください。
- ※以上の操作で機器内の水が排水されますので、次にお使いになるまでお湯の蛇口や水抜き栓は開けたままにしておいてください。



《水抜き》をした機器を、次に使うときは…

- はじめてご使用になる場合や、水抜き後の再使用の場合は機器に注水してください。
- ①電源プラグが抜いてある(分電盤の専用スイッチが「切」になっている)ことを確認してください。
 - ②ガス栓①が開めてあることを確認してください。
 - ③お湯の蛇口⑤をすべて(シャワーなどを含む)開めてください。
 - ④給水水抜き栓③・給湯水抜き栓④を開めてください。
 - ⑤給水元栓②を全開にしてください。
 - ⑥お湯の蛇口⑤を開け、通水を確認した後に閉めてください。
 - ⑦電源プラグをコンセントに差し込んでください。(分電盤の専用スイッチを「入」にしてください)
 - ⑧本体操作部の運転スイッチが「切」になっている(表示画面が消灯している)ことを確認した後、ガス栓を全開にしてください。

お願い

- 水抜き栓は工具で締め付けしないでください。破損のおそれがあります。

日常の点検・お手入れのしかた

日常の点検・お手入れの際は、次のことにご注意ください。

- 安全にお使いいただくために、こまめに日常の点検・お手入れを行ってください。
- お手入れは、必ず①ガス栓を閉め②電源プラグを抜き③機器が冷めてから行ってください。
- フロントカバーなどは決してはずさないでください。
- けが防止のため、手袋をしてお手入れすることをおすすめします。

■日常の点検…次のことにご注意ください。

- 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
- 機器の外観に異常は見られませんか？また、各部品とも正しくセットされていますか？
- 機器および配管から水漏れはありませんか？
- 機器のまわりや給排気筒トップのそばに燃えやすいものはありますか？
- お湯の蛇口の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。

お願い

- 水圧の低い地域では、泡沫器や浄水器を使用しないでください。お湯の量が少なくなります。
 - 機器本体には安全に関する注意ラベルが貼ってあります。汚れたり、読めなくなったときはやわらかい布などで汚れをふき取ってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。もしはがれたり読めなくなった場合は、新しいラベルに貼り替えてください。ラベルについてはもよりの大阪ガスにお問い合わせください。
 - ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、燃焼部などは年1回程度の定期点検をおすすめします。
- ※定期点検を受ける先が不明の場合や、点検費用などについてはお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにお問い合わせください。

■お手入れ方法は

- 機器やリモコンの表面が汚れたときは、台所用中性洗剤(食器・野菜洗い用)を含ませたやわらかい布で汚れをふき取った後、水を含んだ布で軽くふき取ってください。台所用中性洗剤(食器・野菜洗い用)以外の洗剤やみがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしなどの硬いものを使用しないでください。表面の光沢や印刷・文字などが消えたりキズがつきます。本体操作部や増設リモコンは防水タイプではありません。浴室リモコンは防水タイプですが、むやみに水をかけないでください。故障の原因になります。

お願い

- リモコンの内部には電気部品が入っていますから、水をかけないようにしてお手入れしてください。機器の故障の原因になります。
 - 給水水抜き栓先端のストレーナにゴミなどが付いているとお湯の量が少なくなります。こんなときは給水元栓を閉めてから給水水抜き栓をはずして、ストレーナに付いているゴミを取り除いてください。特に近くで水道配管工事などがあったときはご注意ください。
- ※必ず給水元栓を閉め、機器内のお湯が冷めてから行ってください。(やけど防止のため)



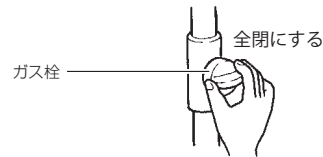
※給水水抜き栓の位置は前ページ右上の図をご覧ください。

長期間使用しない場合は

長期間使用しない場合は次のことを行ってください。

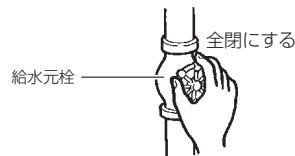
1 ガス栓を閉める。

ガス栓は機器の下部にあります。



2 給水元栓を閉める。

給水元栓は機器の下部にあります。



3 機器の水抜きをする。 (37ページ参照)

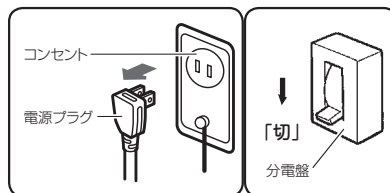


4 電源プラグをコンセントから抜く

コンセントは機器付近の壁などにあります。
分電盤の専用スイッチを「切」にしてください。



ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。
感電のおそれがあります。



故障かな?と思ったら

故障かな?と思ってよく調べてみると故障ではない場合もあります。
修理を依頼する前に、もう一度次の点をお調べください。

「温度」に関する内容

こんなとき	ここをお調べください	参照
お湯の蛇口を開いてもお湯が出ない	ガス栓・給水元栓が全開になっていますか? 断水していませんか? お湯の蛇口は十分に開いていますか? ガスメーター（マイコンメーター）がガスをしゃ断していませんか? 水抜き栓のストレーナにゴミなどが詰まっていませんか? 凍結していませんか? 運転スイッチは「切」になっていませんか?	38 ページ
お湯の蛇口を開いてもすぐお湯にならない	機器からお湯の蛇口まで距離がありますので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。	
低温のお湯が出ない	ガス栓・給水栓が全開になっていますか? 給湯温度設定は適切ですか? お湯の量を絞っていませんか? お湯の蛇口をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。 夏期などの水温が低いときには、設定温度よりも熱いお湯が出ることもあります。異常ではありません。	20 ページ
高温のお湯が出ない	ガス栓・給水元栓が全開になっていますか? 給湯温度設定は適切ですか? 冬期など、水温が低いときに高温のお湯を多く出そうとすると、設定した温度（高温）のお湯が出ない場合があります。 お湯の蛇口を少し閉めてお湯の量を少なくすれば、設定したお湯の温度になります。 混合水栓をご使用の場合、水が回り込んでお湯がぬるくなることがあります。 サーモスタット式混合水栓の場合は、水が回り込んで水栓の設定温度よりもお湯がぬるくなることがありますので、リモコン等の設定温度をご希望の温度（水栓の設定温度）より5～10℃高めにしてください。詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。	20 ページ
お湯の蛇口を絞ると水になった	この機器は通水量が毎分約2リットル以下になったときには消火し、お湯にならない場合があります。お湯の蛇口をもっと開いてお湯の量を多くすればお湯になります。水圧が低い場合は給水事業者の指定工事店にご相談ください。	
給湯温度の調節ができない 湯温が変動して安定しない	操作しているリモコン等の優先ランプまたは優先表示は点灯していますか? ゆらぎのシャワーになっていませんか?（浴室リモコン接続時） 運転スイッチを「切」にしてスムーズに通水することを確認した後お湯の蛇口を開け、約20秒後に再操作してください。それでも異常のときは故障ですので、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。	22 ページ

「音」に関する内容

こんなとき	ここをお調べください	参照
出湯停止後しばらくの間 ファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため、出湯停止後もしばらく回転しています。	
リモコンの運転スイッチ「入」 「切」やお湯の蛇口の開閉時 または給湯使用后、しばらく するとモーターが動く音がする	再使用時の点火をより早くし、お湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。異常ではありません。	

故障かな?と思ったら

(つづき)

「お湯はり・湯量」に関する内容		
こんなとき	ここをお調べください	参照
お湯の蛇口から出るお湯の量に変化する	お湯を使用中、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があります、水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。	
	お湯の蛇口の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変わるものがあります。	
お湯はりの量が設定した湯量にならない	お湯はり量の設定は適切ですか？ 浴槽の残り湯がある状態でお湯はり運転をすると、その分だけ水位が高くなります。	27 ページ
	おふろの排水栓はしっかりと閉めてありますか？	
	お湯はり運転が完了しないうちにお湯はりスイッチを「切」にしたり「入」にしたりを何度も繰り返すと、お湯があふれることがあります。	
	お湯はり運転中(お湯はりスイッチ(赤)点灯中)に、台所などでお湯を使用すると、その分お湯はり湯量は少なくなります。	
	混合水栓などをお使いの場合、お湯はりのときに水側の蛇口を開いていませんか？その分だけ浴槽のお湯が多くなり、湯温はぬるくなります。	25 ページ
お湯はり運転のお湯はり完了まで通常より時間がかかる	お湯はり運転中にお湯を使うと、お湯はりに時間がかかります。	
お湯はり終了後、蛇口から少量のお湯が出てすぐに止まらない	これは配管中のお湯が一時的に出る「後ダレ」現象です。 蛇口を閉めてからお湯はりスイッチを押して「切」にしてください。	
「お湯はりスイッチ」を押しても動かない	給水元栓が全開になっていますか。 断水していませんか	19 ページ
家中のお湯が出なくなった	お湯はり運転をしたままお湯の蛇口を閉め忘れていませんか?このときお湯はりスイッチ(赤)は点滅します。いったんすべてのお湯の蛇口を閉めてからお湯はりスイッチを「切」にしてください。	26 ページ

「本体操作部」や「リモコン」に関する内容		
こんなとき	ここをお調べください	参照
運転ランプが点灯しない	停電していませんか？ 電源プラグが差し込まれていますか？	
	機器内の漏電安全装置が作動していませんか？いったん分電盤の専用スイッチを「切」にしてから再度「入」にするか、電源プラグをコンセントから抜いて再び差し込んでから再操作してください。	
停電または電源プラグを抜いた後、給湯設定温度がお買い上げ時の設定に変わる場合がありますので設定しなおしてください。	停電または電源プラグを抜いた後、再通電すると給湯設定温度がお買い上げ時の設定に変わる場合がありますので設定しなおしてください。	
使用中に燃焼表示が一瞬消灯する	お湯の温度をより安全に調節するために、一瞬機器が消火することがあります。 機器の故障ではありません。	
設定量まで湯はりしても音声と湯はり完了ブザーが鳴らない	音声と湯はり完了ブザーは、給湯器で燃焼したお湯が設定量まで出ると鳴るしくみです。サーモスタット式混合水栓の場合、水栓で水を混ぜるので、設定した湯はり量より水の分だけ多いところで音声とブザーが鳴ります。	
リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	機器使用後約25分経過すると画面表示が消えます。お湯を再使用するか、いずれかのスイッチを押すと給湯温度表示画面に戻ります。	31 ページ
スイッチを押してもそのスイッチの動作をしない	表示の節電(セーブモード)がはたらいているときにいずれかのスイッチを押すと、いったん表示節電画面から給湯温度表示画面に戻り、もう一度押すとそのスイッチの動作をします。(※ 温度を変えるときに使用するスイッチは除く) 運転スイッチの「入」・「切」は、運転スイッチ(黄緑)の点灯・消灯で確認してください。	
リモコンの表示画面に88が給湯設定温度と交互に表示される	ご使用の機器の「点検時期のお知らせ」です。使用期間が10年相当になると表示します。「点検時期のお知らせ」は故障表示ではないため、そのまま使用することもできますが、安全のためもよりの大阪ガスに点検を依頼してください。点検を受けるとの点滅表示は解除されます。	43 ページ

その他		
こんなとき	ここをお調べください	参照
故障表示が点滅する	運転スイッチを「切」にし、約3秒後、もう一度「入」にしてください。それでも点滅するときは故障ですので、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。	43 ページ
	使用中に消火した	
お湯が白く濁って見える	ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？	
	断水していませんか？	
	お湯の蛇口は十分に開いていますか？	
	ガスメーター(マイコンメーター)がガスをしゃ断していませんか？	
逃し弁(37ページの図中の④)からお湯(水)が少しの間出ることがある	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡になって出てくる現象です。特に冬期は給水温が低いために多くの空気が溶け込み、お湯が白く濁っているように見えることもあります。ピール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違ってまったく無害なものです。	
	機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきによって逃し弁から水滴が落ちることがあります。	
水が青く見える 浴槽や洗面台が青く変色した	水中に含まれるわずかな銅イオンが水中に溶けだして青色の化合物が生成され、水が青く見えたり、浴槽や洗面台が青く変色することがありますが健康上問題ありません。浴槽や洗面台をごまめに掃除することにより、変色しにくくなります。	

※以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

故障かな?と思ったら

(つづき)

故障表示が点滅する

機器が故障すると表示画面に下図のような故障表示が点滅します。
故障表示が点滅した場合は次の操作をしてください。

1

ガス栓と給水元栓が十分に開けてあるか確認します。

全開にする
ガス栓 給水元栓
機器の下部

2

お湯を使っている場合は、お湯の蛇口を閉めます。

全開にする

3

運転スイッチを「切」にして、3秒後再び「入」にします。

運転
入切

4

再び使用してみてください。

• 上記の操作をしても故障表示が点滅するときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もお知らせください。

リモコンの表示画面例		
本体操作部	浴室リモコン	増設リモコン

故障表示	内 容	故障表示	内 容
03	お湯は途中で停電、復帰後に止水のまま	61	燃焼ファンモータの回転異常
10	出力ダウン/運転中	65	水量サーボの異常
11	点火ミス	70	比例弁異常
12	途中失火（立消え）	71	電装ユニット・ガス電磁回路の異常
14	過熱防止装置の作動 温度ヒューズの作動	72	電装ユニット・フレイムロッド回路の異常（疑似炎チェック）
16	沸騰検知	90	給・排気閉そく異常
19	リモコンケーブルの地絡 機器内配線（12V回路）の地絡	99	機器運転停止
32	出湯サーミスタの断線・短絡・抵抗値異常	故障時以外の表示	
34	給気サーミスタの断線・短絡		
52	ガス比例弁異常	88	点検時期のお知らせ(9・42ページ)

10を表示しているときは、お湯を使うことはできませんが、給排水異常により十分な給湯能力が出ない状態となります。
また、88を表示している場合についても、しばらくの間はお湯を使用できますが、気が付いたらすぐにお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

主な仕様・能力表

品 名		533-R918		
型 名		RUX-V1316FFDA-E		
型 式 名		RUX-V1316FFDA		
設 置 方 式		共用給排気筒設置		
外 形 寸 法 (mm)		高さ680× 幅370× 奥行200		
質 量 (kg)		21		
接 給 水 ・ 給 湯		15A (R1/2)		
続 ガ ス		15A (R1/2)		
点 火 方 式		連続放電、ダイレクト点火方式		
電 源		AC100V (50-60Hz共通)		
電 気 関 係	消費電力 W (50-60Hz)	待 機 時	1.5	
		使 用 時	33	
		凍結予防ヒータ	74	
	電 源 ケ ー ブ ル	VCT (2芯) 1.8m		
	リ モ コ ン ケ ー ブ ル	VCTまたはVCTF (2芯)		
安 全 装 置		流水検知装置（水量センサー）		過圧防止安全装置（スプリング式）
		送風検知装置（回転数検知方式）		凍結予防装置（電気ヒータ）
		立消え安全装置（フレイムロッド方式）		漏電安全装置（漏電遮断器）
		過熱防止安全装置（ハイリミットスイッチ・温度ヒューズ）		
		誘導電保護装置（サージアブソーバ）		

※ 仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

●ガス消費量・出湯能力一覧表

使 用 ガ ス グ ル ー プ	ガ ス 使 用 量 単位：kW ()内は kcal/h	出湯能力（能力最大）(L/min)	
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス用	13A	29.1 (25,000)	13.7
	12A	27.1 (23,300)	12.1
			8.1
			7.6

※ 出湯能力は混合水栓を使用した場合の計算値です。

アフターサービスについて

■アフターサービス（点検・修理など）を依頼される前に

- 40～43ページの「故障かな？と思ったら」の項を見てもう一度ご確認ください。
確認のうえそれでも不具合のある場合、あるいはご不明の点がある場合は、ご自分で修理なさらないで、必ずガス栓、給水元栓を閉め、電源プラグを抜いて（分電盤の専用スイッチを「切」にして）から、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 1. ご住所・お名前・電話番号・道順（付近の目印など）
 2. 品 名…533-R918型
（品名は機器のフロントカバーに貼ってある銘板の下部に書いてあります）
 3. 現 象…できるだけ詳しく
 4. 訪問ご希望日



■転居または機器を移設される場合

- ガスの種類（ガスグループ）が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、転居先のもよりのガス事業者にご相談ください。
ただし、ガスの種類によっては改造・調整できない場合があります。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事や調整は専門の資格・技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 転居・移設にともなう調整や改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。

■保証について

- 本書の裏表紙と46ページが保証書になっています。
- 保証書に記載のように、ガス給湯器の故障について修理いたします。
詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証書を紛失されますと保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 凍結による故障の場合は保証期間内であっても有料となりますのでご注意ください。
- 自然災害（虫や小動物・雑草などの侵入など）による故障は、保証期間内でも有料修理となりますのでご承知おきください。

■修理用性能部品の保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。
修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
- この機器の修理用性能部品の保有期間は製造打切後10年です。その後の修理は、修理用性能部品がなくて、修理できない場合がありますのでご了承ください。ただし、保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

■アフターサービスなどの連絡先

- お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 次ページ右下の「大阪ガスのお問い合わせ先」を参照してください。